

学習指導センターだより

第2号〔令和8年5月21日（木）〕

☎949-6680 南魚沼市六日町 865 南魚沼市民会館2F 南魚沼市学習指導センター

☎:025(773)6702 Fax:025(773)6703 Eメール:mgakusen@minamiuonuma.ed.jp

ホームページ URL: <https://www.minamiuonuma.ed.jp/1570003> **南魚沼市学習指導センター**で検索



「読もうとする力」を育てる

この春から学習指導センター勤務となり、仕事柄、読書をする機会が格段に増えました。もともと読書は嫌いではありませんが、普段親しんでいる小説や漫画とは異なり、分厚い専門書や学術書を読み進める日々には、脳が悲鳴を上げるような感覚を覚えることもあります。

現在、南魚沼市では「読む力」の育成に注力しており、その一環として読書活動に力を入れている学校も少なくありません。近年の調査では、「読書量」と「学力」の強い相関関係が科学的に裏付けられています。具体的な例として、「令和7年度 全国学力・学習状況調査」の結果を挙げます。国語・算数（数学）などの正答率と生活習慣に関するアンケートをクロス集計したところ、「読書が好き」と答えた児童生徒ほど全教科で正答率が高い傾向が顕著に見られました。特に「記述式問題」や「活用力」を問う問題において、読書習慣の有無による差が開きやすいことが示されています。

こうしたデータからも読書習慣の重要性を再認識させられますが、では、いかにして子どもの読書習慣を養えばよいのでしょうか。本県出身の脳科学者・加藤俊徳氏は、著書『子どもの読解力が伸びる本の読み方』の中で「子どもの本体験を増やすこと」を推奨しています。加藤氏は「最初は本を読まなくてもいい」とさえ述べています。親子で書店や図書館へ足を運び、本を眺め、手で触れる。その刺激を通じて「読みたい」という興味を醸成し、本を選ぶワクワク感を体験させる。そして、子どもがどんな本を選んでも決して否定しないことが肝要であると説いています。

これは、家庭に限らず学校現場でも同様ではないでしょうか。例えば図書室での本の貸し出しを子ども任せにするのではなく、教師も一緒に図書室へ行き、共に本を選ぶ。そして子どもの選んだ一冊に関心を寄せ、肯定するなど。（私自身、高学年の児童が『かいけつゾロリ』シリーズを借りようとするのを「それ低学年用じゃない？」と言ってしまったことを深く反省しています。）



さらに同氏は、読み聞かせが脳科学的に絶大な効果をもつとし、「可能であれば、無理のない範囲で、読み聞かせを続けてあげてほしい」と提唱しています。学校現場は行事や授業準備で多忙を極めますが、担任一人が抱え込む必要はありません。学校司書や地域ボランティアの方々と連携し、高学年になっても読み聞かせを体験できる機会を確保することが、子どもたちの豊かな読書習慣、ひいては確かな学力の育成につながるのではないのでしょうか。

（文責 高橋 圭祐）

📖「令和8年度 第1回 学力向上推進研修」が行われました📖

5月14日（木）に、令和8年度 第1回学力向上推進研修会が開催されました。当日は学力向上の推進役である管理職や研究主任が集まり、学習指導センターから「RSガイド」に基づく事業説明が行われました。

今年度で4年目を迎える「読む力」育成事業ですが、各学校がこれまでに積み重ねてきた実践を基に、終始活発な情報交換や意見交換が行われました。

開会のあいさつ

冒頭、岡村教育長より「5割」という数字をキーワードに話がありました。これは10年前の調査で判明した「教科書の基礎的な内容を正確に読み取れていない児童生徒の割合」のことです。南魚沼市ではこの状況を受け「教科書を正しく読む力」の育成に危機感を持って重点的に取り組んできました。今回は、改めてこの「読む力」を育てる大切さを再確認し、今年度はどのようなアプローチをしていくべきか、具体的に考える機会となりました。



学習指導センターの説明

学習指導センター指導主事より、「RSガイド」を基に「読む力」育成についての説明がありました。

令和7年度まで主に実証研究校を中心に蓄積してきた知見がこの「RSガイド」にまとめられています。今年度からは各中学校区で自立的・発展的に取り組んで（自走して）いくこととなります。今回はその具体的な内容を全員で確認しました。



各学校の情報交換

最後に、参加者で小グループを作り情報を交換しました。「『読む力』を育む学校の本年度の取組」をテーマに行いました。



今年度も「読む力」の情報取組を提供お願いします。

（文責 中澤 晃）

視聴覚機器の紹介と借用方法

今年度も、南魚沼郡市内の利用登録された団体向けに貸出を行います。個人利用・営利利用はできませんので、ご注意ください。

品名	貸出No.	台数	購入	仕様	
◆スクリーン◆					
フロアスクリーン 100インチ	M-6A	1	H15	70°タイプ 200×150cm	
フロアスクリーン 100インチ	M-7A	1	H27	70°タイプ 215×135cm (16:10)	
組立スクリーン 200インチ	M-8A	1	H18	組み立て式 420×310cm 大会場用	
◆プロジェクター◆					
ルーメン=光の量 大きいほど明るい SP=スピーカー HDMI ケーブル接続					
VHSプロジェクター	M-52D	1	H14	1800 ルーメン	
DVDプロジェクター	M-58C	1	H21	2500 ルーメン	WXGA SP10W*2 HDMI
DVDプロジェクター	M-58F	1	H26	2500 ルーメン	WXGA SP10W*2 HDMI
プロジェクター SANYO	M-55C	1	H16	2500 ルーメン	
プロジェクター EPSON	M-56C	1	H22	3000 ルーメン	WXGA SP1W
プロジェクター CANON	M-56B	1	H28	3200 ルーメン	WXGA SP10W HDMI
プロジェクター NEC	M-57G	1	H26	4500 ルーメン	WXGA SP16W HDMI*2
プロジェクター SONY	M-57I	1	H27	5100 ルーメン	WXGA SP10W HDMI*2 RGB*2
◆その他◆					
ビデオライティングスタンド	M-32	1	H04	移動ビデオ撮影用照明、350Wランプ 1灯	
DVDプレイヤー	M-42C	1	H17	DVD +RW/-R/-RW/-R、CPRM 対応	
ノートパソコン Lenovo	M-74G	1	H23	Win7、Office2010 (ネット接続不可)	
デジタルカメラ Canon	M-82	4	H20	710万画素 光学3.4倍ズーム SDカード4GB	
デジタルカメラ Canon	M-83	3	H21	1210万画素 光学4倍ズーム SDカード4GB	
デジタルカメラ Nikon	M-84	2	H26	2005万画素 光学5倍ズーム SDカード16GB	

貸出から返却の流れ

借りる前に 借りたい視聴覚教材・機器を確認します。

HP

学習指導センターの
HPで確認できます

電話で予約 貸出希望の旨、借りたい視聴覚教材・機器、日程等を伝えます。
南魚沼市学習指導センター 【025-773-6702】

- ・受付時間 月～金曜日 8:30～17:00 (祝祭日・年末年始除く)
- ・利用日の2ヶ月前から受付可能。
- ・貸出は引取・返却日を含め原則5日以内 (休日は除く)。

貸出 南魚沼市学習指導センターまでに受け取りにお越しくください。
・搬入出・設置・操作は原則、利用団体が行います。

使用 注意事項を守り、丁寧な取り扱いをお願いいたします。

返却 貸出した視聴覚教材・機器が揃っているか確認します。
利用報告書に使用回数等を記入し、返却予定日までにご返却ください。

